



ロータリー  
変化をもたらす

2017-2018年度

■会長 愛宕 彰

■幹事 寺田 祐子

例会日: 金曜日 12:30-13:30

例会場: スカイホテル魚津

## 第3113回例会

- 点鐘・握手
- ロータリーソング「我等の生業」
- ゲスト並びにビジターの紹介  
2017-18年度 富山第一分区ガバナー補佐  
朝日RC 佐渡 栄寿 (さど えいじゅ)様



- 誕生祝い 16日: 茶谷夫人 27日: 谷川夫人 30日: 辻夫人



妻は私と誕生日が1か月違いで、年を聞かれると「旦那と一緒に」と答えています。6/2の新川文化ホールでの吹奏楽コンサートに向け練習に励んでいます。



つい先程、妻が部屋に来て「私何しに来たの?」と健忘症か認知か何かわからないような症状を訴え、今後どうなるのかなと思いますが、お互い元気に頑張っていこうと考えています。



愛妻家3人組です、自称ですが。喧嘩をしてもあまり勝てなくなりましたので、喧嘩しないよう愛妻家に努めたいと思います。

## ■会長挨拶 愛宕会長

いよいよGWが始まり来週5/4は休会で、次回は5/13早朝例会です。  
また、5/27に魚津西RCの50周年記念式典が行われます。魚津RCの60周年の時は大変お世話になりましたので、今回も全員登録で、またできるだけの協力をよろしくお願い致します。



## ■幹事報告 寺田幹事

### ★ガバナー事務所より

- ・第41回IAC協議会開催のご案内
- ・2018-19年度地区補助金申請に関するご案内
- ・ロータリーの友誌「わがまちの味」「私の一冊」ご投稿募集について
- ・各クラブの社会奉仕事業の実施報告

### ★その他

- ・創立50周年記念式典のご案内とご登録のお願い(魚津西RC)
- ・しんきろうマラソン広告協賛について(魚津しんきろうマラソン実行委員会)
- ・H30年度総会のご案内(魚津市暴力追放運動推進協議会)

5月のRILEート  
\$1=108円



## ■5月例会案内【青少年奉仕月間】

5月13日(日) 早朝例会 6:30点鐘

[海の駅]

5月18日(金) ゲスト卓話

魚津工業高等学校インターアクト部

[スカイホテル]

5月25日(金) 会員卓話 山澤君

[スカイホテル]

★5月SAA補助: 生駒君・大村君 よろしく申し上げます。

## ■出席報告 平崎委員長

本日の出席	欠席者	3111回メークアップ	3111回出席率
24名	7名	4名	82.8%(←69.0%)

## ■ニコボックス報告 茶谷委員

★ガバナー補佐 佐渡永寿様

★寺崎君: 長らく欠席して申し訳ありませんでした。今日からまた宜しくお願い致します。

★野澤君: 寺崎さん待っておりました。

★青山君: 本日は新川インフォメーションセンターでのピロリ菌抗体検査用採血のため出ております。宜しくお願い致します。

## ■委員会報告

★親睦委員会 茶谷委員長

・親睦旅行(5/19,20)の出欠について



## 本日の卓話

### 『雑談』 寺崎君

私の卓話は3/2でしたが入院しております、2月の半ばに会長、幹事から聞かれました時に「とても無理です」とお断りし、私は勝手に卓話は流れたな、入院も悪くないと安心しておりました。しかし、3月半ばにまた会長、幹事からお話があり、与えられたことは全うしないとだめだなと思い出てきました。ただ、私の周囲の遊び友達もぼちぼちあの世に旅立ったり、入院したりで、新しい情報が入ってきませんので、皆さんにお話するような材料は持ち合わせておりません。

ただし思っていたことはあり、それは今のロータリーに対して非常に腹が立つ、そして落胆して、失望しているという気持ちです。これは別に魚津RCに対してではなく、世界のRCに対してです。ロータリーは以前と比べると180度変わってきており、例えるならば、栗の木は栗の実をつけますが、木は栗のままで枝には柿がなるという感じです。3月半ばに開催されるPETS(会長エレクト研修セミナー)で、各クラブの会長はRI会長やガバナーの考えを勉強し、各クラブに持ち帰って実行しようと思います。愛宕会長もそれに従い、規約や細則の改正に向け、野澤さんを委員長としてクラブ定款・細則改定委員会を作りました。そして中身については、平崎さんと川岸さんが苦労されて文章を直されました。なぜ私が腹が立つかということ、従来の「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」「国際奉仕」の四大奉仕がなくなり、「クラブ運営」「会員増強」「公共イメージ」「奉仕プロジェクト」「ロータリー財団」の5つの委員会ができましたが、特に「公共イメージ」と「会員増強」です。

「公共イメージ」のイメージは将来を思い描くこと、想像することであって、実行することではありません。外国語と日本語のちがいはあると思いますが、なぜ「公共活動」や「公共奉仕」としなかったのかと思います。

また、「会員増強」が常任委員会に格上げとなっておりますが、ポール・ハリスは皆を集めてお金を集めようとしたわけではないと思います。ロータリーの根幹は「職業奉仕」だと思っており、一人ひとりが一生懸命仕事をして、その余暇で奉仕をすることだと思います。ポール・ハリスはみんなが集まって協力して、社会のために尽くそう、奉仕をしようという思いで立ち上げ、それが現在の120万人の会員につながったのだと思います。それに対し現在のRIでは、職業、社会や奉仕という言葉が何か遠くに押しやられている感じがします。また、30数名の日本のガバナーもオーストラリア在住のRI会長の言葉を受け、その通りにしようとしています。日本の風土にあったものの考え方、解釈をして、もう少し緩やかな改正にできなかったのかなと思います。

